

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の35時間（第1学年は34時間）の一部を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」70時間のうち35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区 分	各 教 科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時間数
学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

1年生から4年生までの各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作動画『OK English(約8分)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。動画の内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を配慮しながら、学級担任とともに動画

【資料2】OK English



を繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

3 本校の取組

広幡小学校では、月～金曜日の13時15分から13時25分を「英語活動」の時間としています。

子供たちは昼の休み時間が終わると、教室に入ります。子供たちが落ち着いたところで、英語係が動画を流します。すると、ALT (Assistant Language Teacher) が歌う英語の歌が流れ、子供たちは自然と英語を学ぶ雰囲気となります。学級担任は、自ら手本となるべく、常に子供たちの前に立ち、率先垂範で英語活動に臨みます。動画は8分で終わりますが、その後、その時間の学習の振り返りを行い学習事項の定着を図ります。

【資料3】動画の音声に合わせて体を動かす2年生



【資料4】ALTを教室に招き、名前を尋ねる表現を発音する1年生

